

# 令和 4 年度病床機能の現状について

---

# 地域医療構想に基づく病床機能の分化・連携の前提

地域医療構想は、人口の減少や高齢化が進展する中で誰もが住み慣れた地域で暮らし続ける社会を実現するために、地域包括ケアシステムを車の両輪として、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進等を一体的に進めている。

## 地域医療構想の実現

- 高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4機能ごとの医療需要と必要病床数を構想区域単位で推計
- 将来の医療需要をふまえ医療機関の自主的な取組等により病床の機能分化・連携（医療機関間の役割分担や連携の強化）を推進

重複部分  
〔在宅医療の充実  
医療と介護の連携〕

医療需要の推計は、政策的に在宅医療に移行することを前提としており、病床機能の分化・連携により在宅医療等の需要が増加

「在宅医療の充実」や「医療と介護の連携」は、地域医療構想、地域包括ケアシステム双方を進める観点からも重要

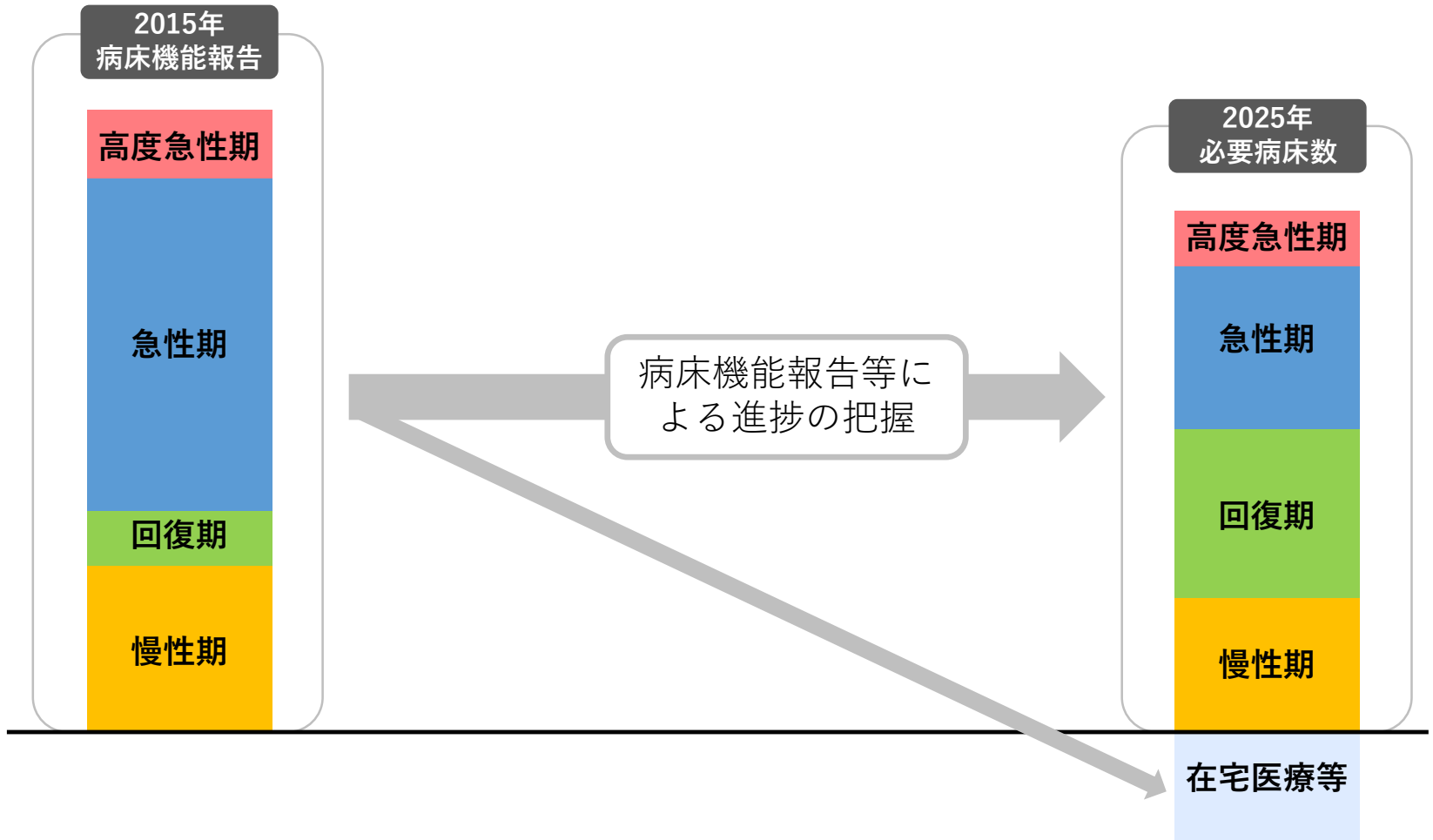
## 地域包括ケアシステムの構築

- 保険者である市町村が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて地域支援事業を実施
- 市町村や都道府県は、3年ごとに介護保険事業（支援）計画を策定
- 計画では、介護サービスの基盤整備や認知症施策の推進などを記載

こうした前提のもと、病床機能の分化・連携を進捗を図るため、  
病床機能報告等により必要病床数に対する病床機能の現状を毎年度定期的に把握

# 「病床機能の現状」の把握方法①

- 必要病床数に対して、現在の機能別病床数がどの程度近づいているかを把握するためのツールとして、医療法に基づく病床機能報告制度があり、毎年度病床機能の現状を把握することとなっている。
- なお、在宅医療等の確保状況については、包括的に把握可能な手段がないため、介護保険事業（支援）計画に基づく介護サービス量の見込みや医療計画の在宅医療の取組の進捗状況等により確認している。



# 「病床機能の現状」の把握方法②

- 病床機能報告は、そのとりまとめに一定の時間を要し、最新の状況が反映されない場合があるほか、医療機関が自主的に病床機能を選択して報告する仕組みであり、客観的な比較が困難な場合がある。
- そのため、三重県では、アンケート調査によるタイムラグの補正や客観的な定量的基準による病床機能の補正などにより病床機能報告を修正した上で、必要病床数と比較する仕組みを導入している。

## 病床機能報告

どの「医療機能」に該当するかの定性的な基準をふまえ、病棟ごとに医療機関が自主的に判断

主観的な判断に基づく病床機能報告の結果と必要病床数との間にギャップが発生

アンケート調査による  
タイムラグの補正

医療型障害児  
入所施設等の除外

定量的基準による  
医療機能の補正

## 定量的基準適用後の病床機能報告

主観的な判断に基づく病床機能報告の結果が、客観的な基準に基づく数値に転換される

病床機能報告と必要病床数との間に生じているギャップを補正し、両者の比較が可能に

必要病床数の充足度の評価  
(ピーク時必要病床数と比較)

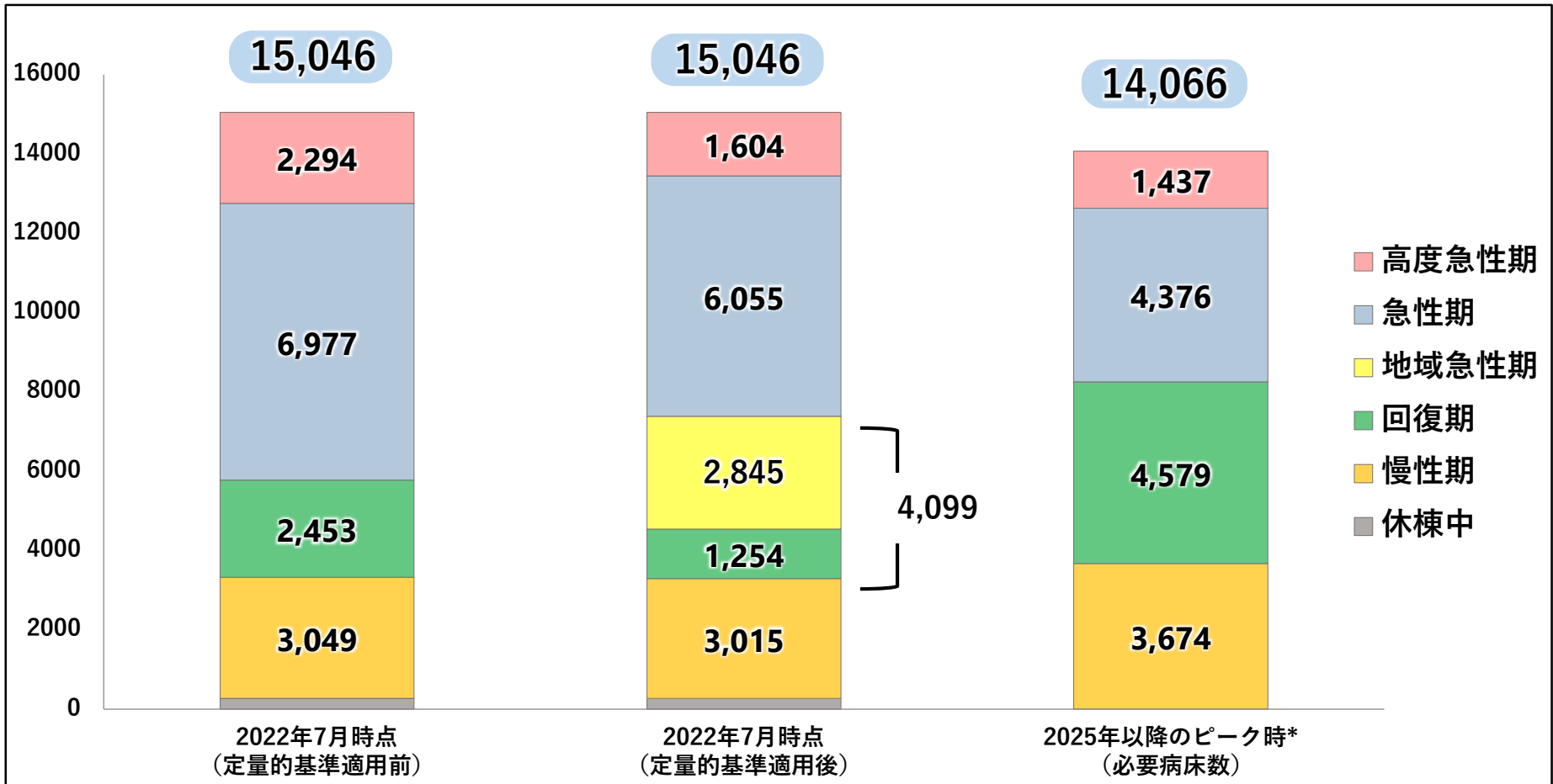
## 必要病床数 (医療需要の推計)

2013年の個々の患者の受療状況をベースに、医療資源投入量に沿って機能ごとに区分したもの

病床機能報告結果に定量的基準を適用することによって、より現実に即した形で必要病床数と比較することが可能となり、各医療機能の充足度の評価や医療機能の分化・連携の在り方を議論するうえでの目安として活用できるようになる。

# 令和4(2022)年度定量的基準の適用結果 (県全体)

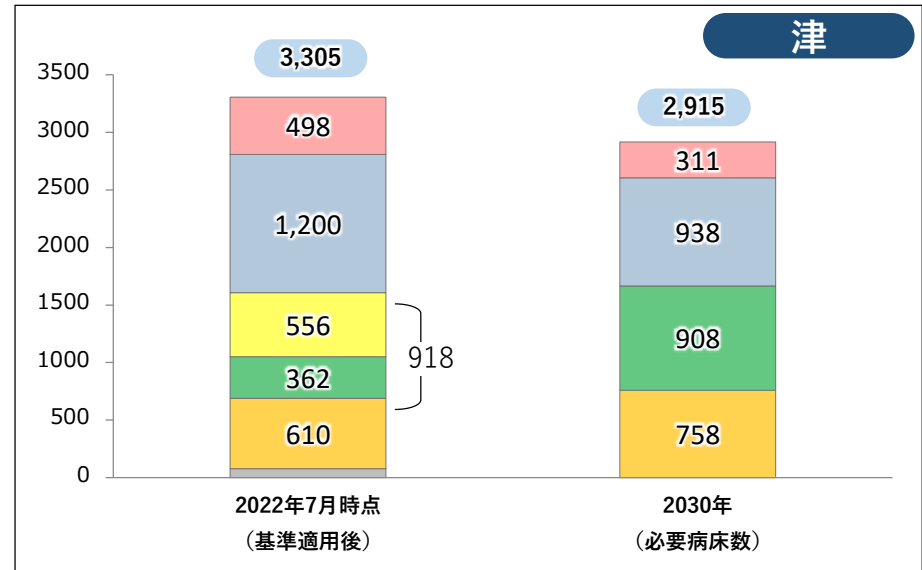
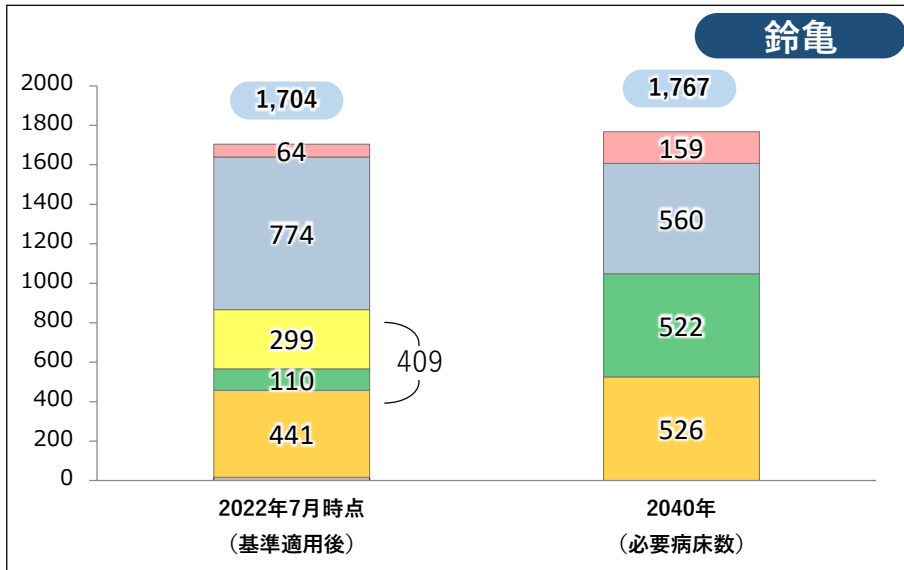
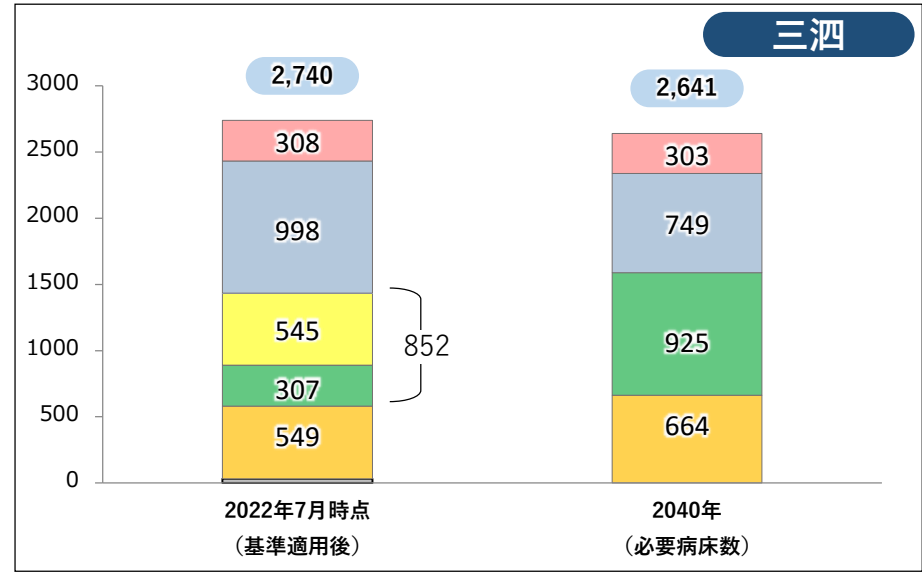
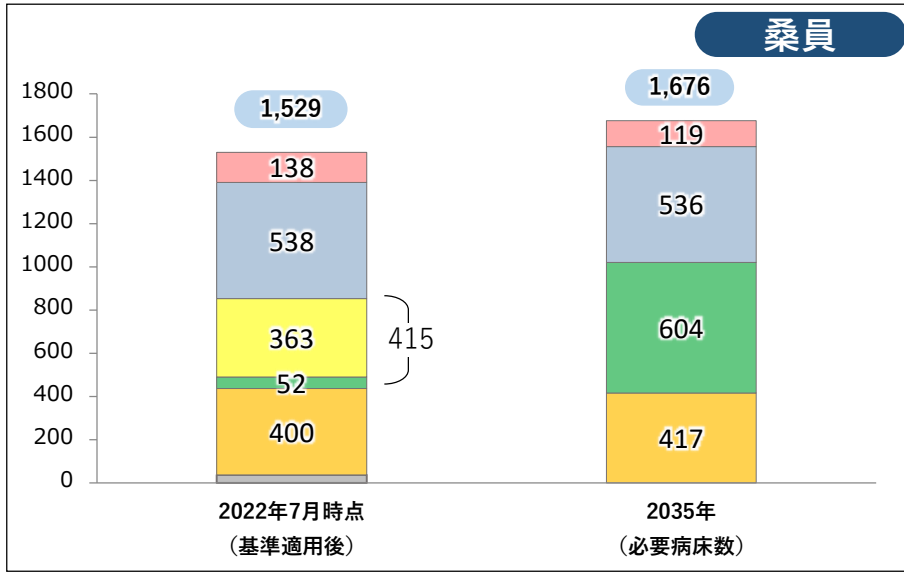
- 令和3(2021)年度病床機能報告にアンケートによる最新の状況を反映した本年7月1日時点の病床数に対して、医療型障害児入所施設等の病床数(県全体:364床)を除いた上で、定量的基準を適用した。
- 県全体の適用結果は、適用前と比較して高度急性期と急性期が減少し、地域急性期と回復期を合わせた4,099床となった。
- 必要病床数(ピーク時)と比較すると、高度急性期は167床、急性期は1,679床の過剰、回復期は480床、慢性期は659床の不足となった。



\* 2025年以降の医療需要のピーク時(三河、鈴鹿区域が2040年、桑名区域が2035年、津、伊賀、松阪区域が2030年、伊勢志摩、東紀州区域が2025年)における必要病床数の合計値。

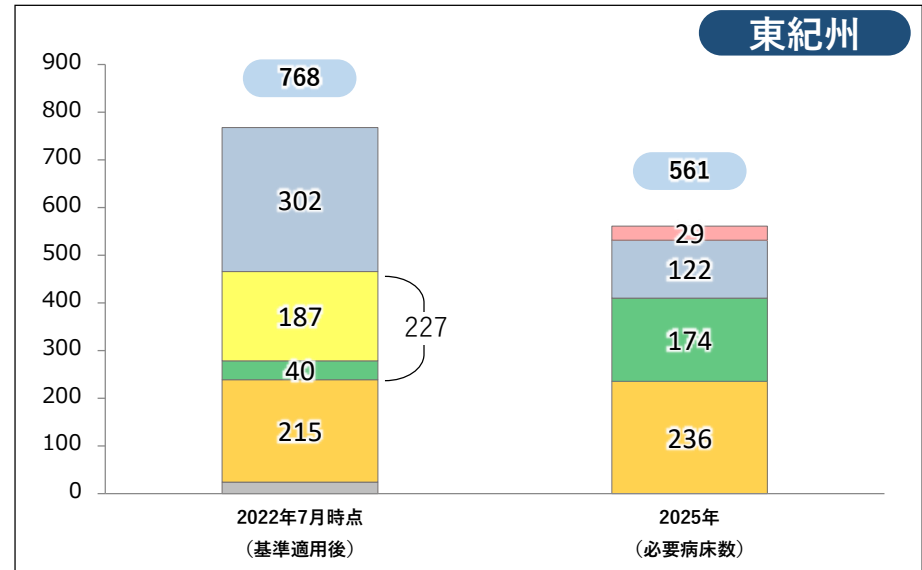
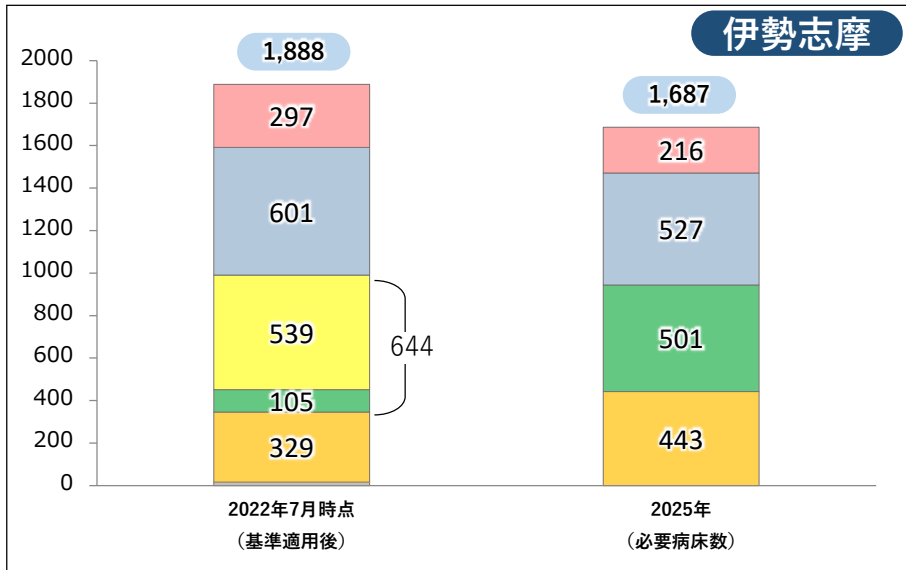
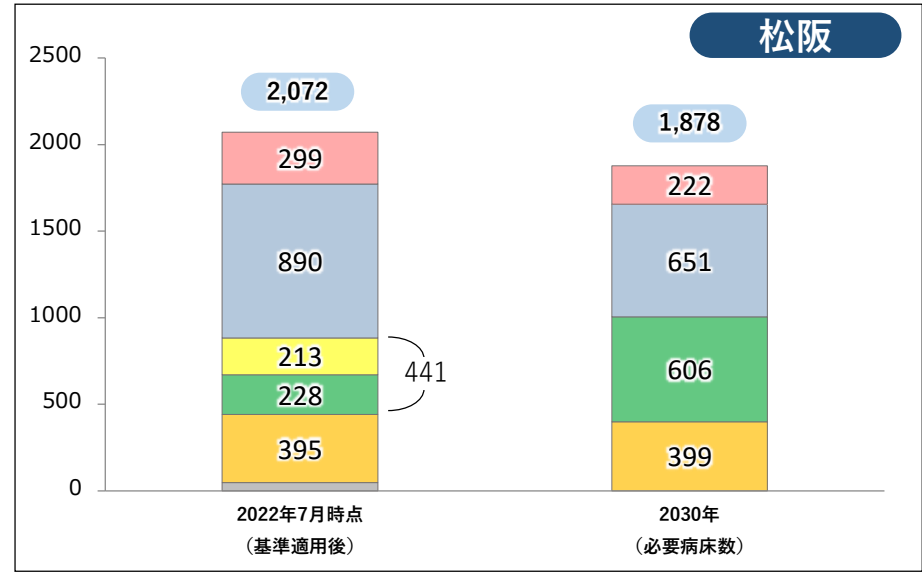
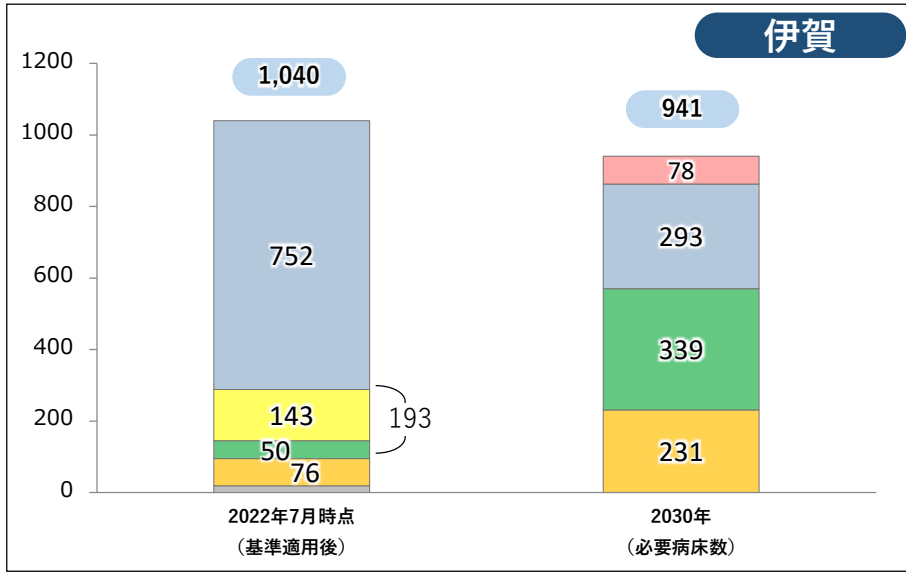
# 令和 4 (2022)年度定量的基準の適用結果 (構想区域別①)

高度急性期
  急性期
  地域急性期
  回復期
  慢性期
  休棟中等



# 令和4(2022)年度定量的基準の適用結果 (構想区域別②)

■ 高度急性期 
 ■ 急性期 
 ■ 地域急性期 
 ■ 回復期 
 ■ 慢性期 
 ■ 休棟中等



# 医療機関別定量的基準の結果（桑員区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
<b>公立</b> 桑名市総合医療センター	132	230 //	38				400
<b>公的等</b> いなべ総合病院	6	175 //	39				220
日下病院			106 //		48		154
青木記念病院		46	58				104
ヨナ八丘の上病院		53	58	52	22		185
もりえい病院		34	20				54
長島中央病院					160 //		160
大安病院					34		34
桑名病院					50		50
山崎病院					48		48
有床診療所			44		38	38	120
合計	138	538	363	52	400	38	1,529



# 医療機関別定量的基準の結果（三泗区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
<small>公立</small> 市立四日市病院	220 //	315 //					535
<small>公立</small> 県立総合医療センター	84	335 //					419
<small>公的</small> 四日市羽津医療センター	4	177 //	45				226
<small>公的</small> 菰野厚生病院		104 //	42	41	43		230
みたき総合病院			81	44	74		199
富田浜病院		47	43	55			145
山中胃腸科病院			48		45		93
四日市消化器病センター		20			20		40
小山田記念温泉病院			113 //	95	169 //		377
主体会病院			45	53	130 //		228
石田胃腸科病院			38				38
水沢病院					38		38
四日市徳洲会病院					30		30
有床診療所			90	19		33	142
合計	308	998	545	307	549	33	2,740

# 医療機関別定量的基準の結果（鈴亀区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
<small>公的等</small> 鈴鹿中央総合病院	29	411	20				460
<small>公的等</small> 鈴鹿回生病院	6	317	56				379
<small>公的等</small> 鈴鹿病院					70 (220)		70
<small>公立</small> 亀山市立医療センター		46	44				90
村瀬病院			60	58	100		218
塩川病院			42	15			57
白子ウィメンズホスピタル	29						29
高木病院					79		79
田中病院					79		79
亀山回生病院					76		76
鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院					25		25
有床診療所			77	37	12	16	142
合計	64	774	299	110	441	16	1,704

# 医療機関別定量的基準の結果（津区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
<small>公的</small> 三重大学医学部附属病院	262 //	393 //					655
<small>公的</small> 三重中央医療センター	130	308 //	12				450
<small>公的</small> 三重病院		58	50		80 // (70)		188
<small>公立</small> 一志病院		46				36	82
<small>公立</small> 子ども心身発達医療センター			(30)				0
遠山病院	57	85	38				180
永井病院	49	79		56	15		199
武内病院		92	40	48			180
榊原温泉病院			49		150 //		199
七栗記念病院			68	150 //			218
大門病院			55	27	24		106
榊原白鳳病院			48		151 //		199
津生協病院		50	60			39	149
岩崎病院		39	13				52
若葉病院		50		45	35		130
吉田クリニック			35		45		80
第二岩崎病院				36	28		64
倉本内科病院					50		50
井上内科病院					32		32
有床診療所			88			4	92
合計	498	1,200	556	362	610	79	3,305

# 医療機関別定量的基準の結果（伊賀区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
岡波総合病院 <span style="color: red;">●</span> 公的等		249		50	36		335
上野総合市民病院 <span style="color: blue;">●</span> 公立		237	44				281
名張市立病院 <span style="color: blue;">●</span> 公立		159	41				200
寺田病院		55			40		95
森川病院		52					52
有床診療所			58			19	77
合計	0	752	143	50	76	19	1,040

# 医療機関別定量的基準の結果（松阪区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
<b>公的等</b> 松阪中央総合病院	82	348 //				10	440
<b>公的等</b> 済生会松阪総合病院	80	326 //	24				430
<b>公立</b> 松阪市民病院	92	175 //	39		20		326
<b>公的等</b> 済生会明和病院			34	180 //	6 (44)		220
<b>公的等</b> 大台厚生病院		41	16		53		110
松阪厚生病院			55		135 //		190
三重ハートセンター	45						45
花の丘病院				45	51		96
桜木記念病院					60		60
南勢病院					51		51
有床診療所			45	3	19	37	104
合計	299	890	213	228	395	47	2,072

# 医療機関別定量的基準の結果（伊勢志摩区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
伊勢赤十字病院 <small>公的等</small>	277	337	20				634
市立伊勢総合病院 <small>公立</small>	20	160	60	40	20		300
県立志摩病院 <small>公立</small>		104	132				236
志摩市民病院 <small>公立</small>			29		31	17	77
町立南伊勢病院 <small>公立</small>			50				50
玉城病院 <small>公立</small>			20		30		50
伊勢慶友病院			40	47	126		213
伊勢田中病院			40		43		83
豊和病院					60		60
有床診療所			148	18	19		185
合計	297	601	539	105	329	17	1,888

# 医療機関別定量的基準の結果（東紀州区域）

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
尾鷲総合病院 <span style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">公立</span>		162 //	93				255
紀南病院 <span style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">公立</span>		140 //	60	40			240
長島回生病院			27		47		74
第一病院					168 //	24	192
有床診療所			7				7
合計	0	302	187	40	215	24	768